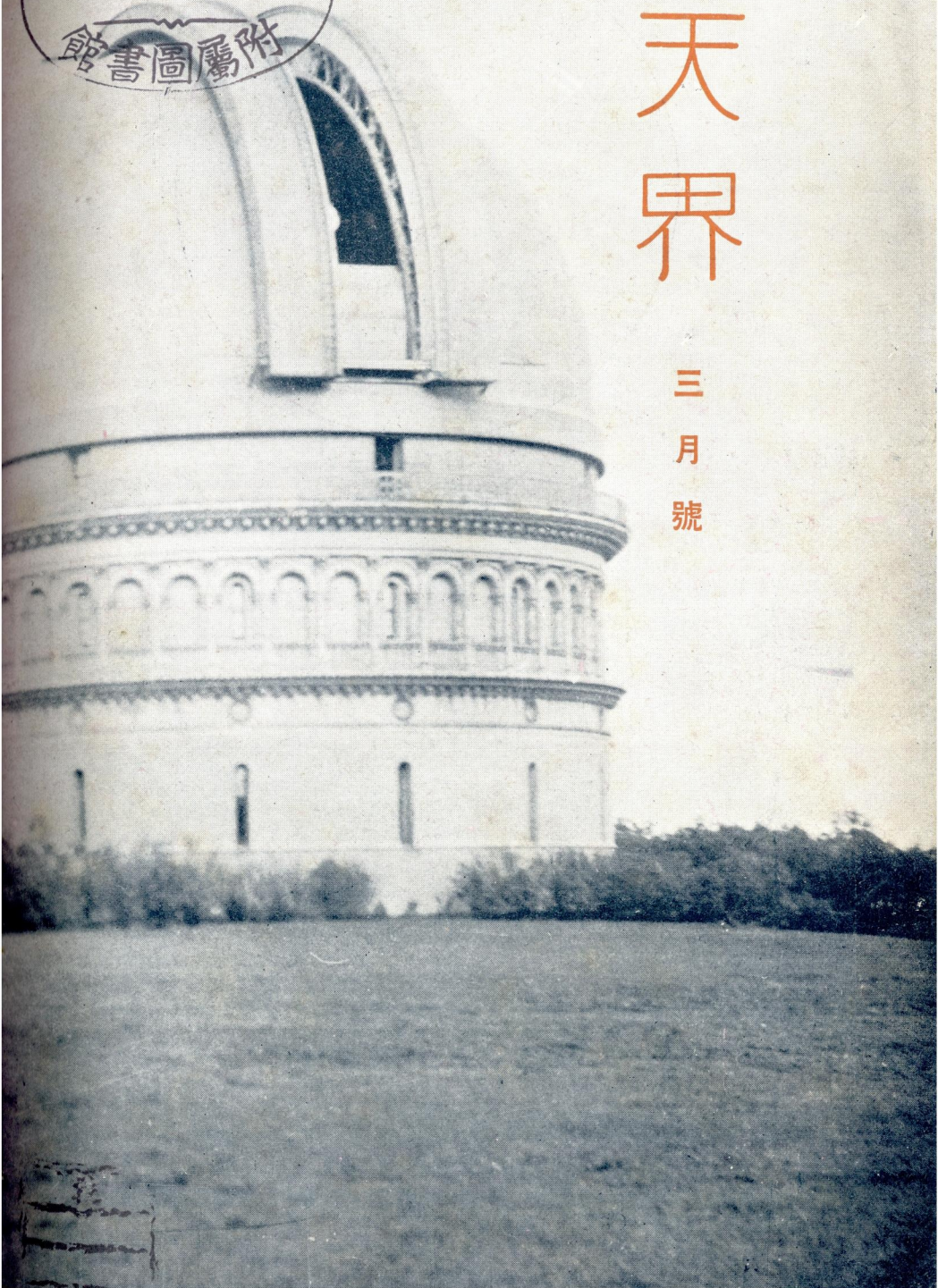


天正九年十二月二十四日 第三種郵便物認可 昭和八年二月二十四日印刷 同二十五日發行

天
學大國帝都京
和昭
— 0.0 1 —
館書圖屬附

天界

三月號

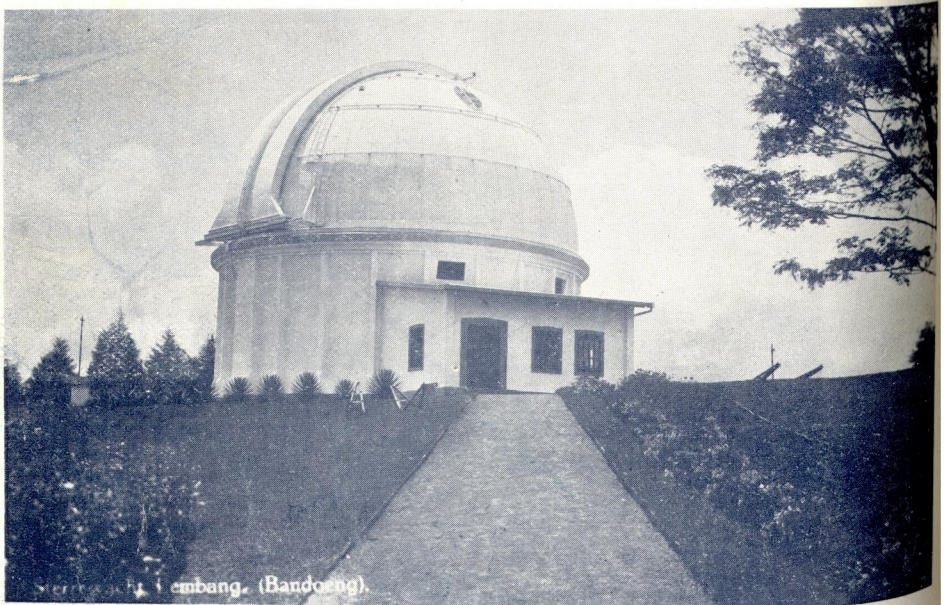




プレヤデスの美観

(清水真一氏撮影)

毎年、秋から翌春へかけて天空を飾る此の昴宿は古來何人にも親しまれてゐる星團である。



レムバン天文臺の大ドーム

蘭領ジャバ島バンドン市北郊にある此の天文臺には口径60釐の二重屈折式望遠鏡が据えられてある。(本誌178頁参照)

昭和九年三月例會は下の如く開きます。例により遠近より會員諸氏の來會を歓迎します。

時日：三月十一日(日曜)午後三時

場所：京都帝國大學花山天文臺

電車は東山通仁王門にて乗り換へ、東行し、「蹴上げ」で下車、それから東海道筋を五丁ほど東進し、「花山道路」に入る。

又は、三條大橋から「花山道路」入口まで乗合バスあり。

當日、下の如き興味ある講演があります。

講演：理學士 柴田淑次氏 『日食觀測旅行談』

天 界 第百五十五號 (第十四卷) 昭和九年三月號 要 目

〔口繪寫眞〕 プレヤデス(清水眞一氏撮影)、蘭領ジャバ島レムバン天文臺、我が最初の三球儀精密寫眞三葉(滿本達雄氏)

| | |
|-----------------------------------|-----|
| 編輯室より | 161 |
| 原子は人工により變轉す(講演)… 臺北帝大教授理學博士 荒勝 文策 | 162 |
| 歐洲旅行談… 理學博士 新城 新藏 | 167 |
| 南の星座… 岡 山 水野 千里 | 169 |
| 松山より | 172 |
| 研 究 { 天界新知識(13件) | 173 |
| 欄 { 東亞天文協會觀測部の欄○注意○流星課○寫眞課○太陽課 | |
| ○彗星課○變星課○遊星面課○器械課 | 180 |
| 故中村要氏著「反射望遠鏡の研究」目次 | 188 |
| 日食遠征日誌(1) … 理 學 士 柴田 淑次 | 189 |
| 花山だより | 192 |
| 之れは不思議な因縁「山本鴻堂之舊邸」 | 192 |
| 北米旅行記(6) … 理學博士 山本 一清 | 193 |
| 東亞天文協會のベリジ○南米支部の經緯度○寄贈圖書○グリル | 197 |
| 昭和九年三月の天象 | 198 |
| 我が國最初の精密三球儀(山本)、其の寫眞に添えて(滿本) | 200 |

Contents of the HEAVENS, No. 155 (March, 1934)

Pleiades, Lembang Observatory, Earliest Planetarium of Precision in Japan (Frontispiece); Editorial (161); B. Arakatu, Artificial Transformations of Atoms (162); S. Shinjo, European Tour (167); Ch. Mizuno, Southern Constellations (169); LATEST KNOWLEDGES ON ASTRONOMY(173); Columns of Observing Sections, O. A. A. (180); Contents of Late Nakamura's "Reflectors" (188); Issei Yamamoto, My American Tour, vi (193); Heavens of March, 1934 (198); On Asa-eda's Planetarium (200).

東亞天文協會觀測部 (Observing Section, O. A. A.)

大正十年九月に組織されたもので、會員中の實際天文研究に興味を有する者より成る。今下記のと十課に分れてゐる。

1. 流星課 (課長 小旗孝二郎)
2. 彗星課 (課長 柴田淑次)
3. 變星課 (課長 小山秋雄)
4. 太陽課 (課長 上島昇, 幹事 山本英子)
5. 黃道光課 (課長 荒木健兒, 幹事 淺野英之助)
6. 豫報課 (課長 山本一清)
7. 機械課 (課長 木邊成鷹)
8. 寫眞課 (課長 龜井壽彦)
9. 遊星面課 (課長 山本一清, 幹事 木邊成鷹, 宮本正太郎)
10. 掩蔽課 (課長 高城武夫, 幹事 太田量平)

東亞天文協會觀測部規定 (昭和6年11月22日決定)

- 第一條 本觀測部ハ東亞天文協會ノ目的ヲ達スル爲メノ一事業トシテ、天體ノ觀測研究ヲ行フ。
- 第二條 本觀測部ニ下記ノ若干課ヲ置ク。
流星課、彗星課、變星課、太陽課、黃道光課、豫報課、機械課、寫眞課、遊星面課、掩蔽課。
- 第三條 課長ハ部長ノ監督ノ下ニ、各課ノ事業ヲ統括シ、幹事ハ課長ヲ補佐スル。
- 第四條 東亞天文協會會員ハ希望ニヨリ本觀測部員トナル事ガ出來ル。
- 第五條 部員ハ觀測上ノ必要ニヨリ課長ノ指導及ビ種々ノ印刷物ノ配布ヲ受ケル。
- 第六條 部員ハ部費トシテ東亞天文協會々計ハ月十錢ノ割デ年末マデノ分ヲ前納ノ事

東亞天文協會(舊名天文同好會)規則摘要(和7年10月15日改正)

天文學ノ研究及ビ會員相互ノ親睦ヲ増スノガ目的デアル

本部ヲ京都帝國大學花山天文臺内ニ置ク 又會員密集ノ地ニハ支部ヲ置ク
會ノ事業

- 一. 講演 (例會毎月一回、總會年一回、其他臨時會)
- 二. 講習 (各デ臨時ニ開ク)
- 三. 雜誌圖書ノ出版 (雜誌 "天界" ハ毎月會員ニ無代配布、圖書ハ隨時)
- 四. 研究見學及ビ實地觀測 (本會ニ觀測部ヲ置キ、別記ノ規約ニ依ル)
- 五. 天文臺ノ經營 (會員ニハ特權ガアル)

會 員 此ノ會ノ目的ニ賛スルモノハ誰デモ入會ガ出來ル。會費ハ每曆年度ニツキ前納金參圓トスル。但シ中途入會ノ場合ハ月參拾錢ノ割デ年末迄前納ノ事

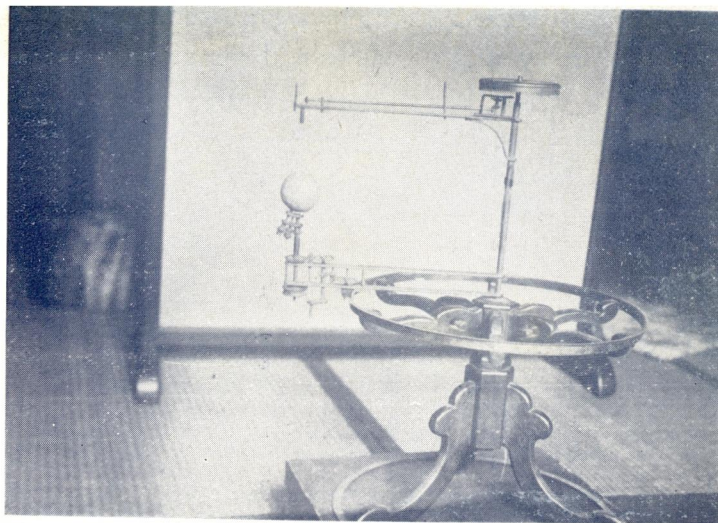
維持會員 本會ノ經營ヲ支持スル趣意デ毎年金貳拾圓以上ヲ齎出スル者

名譽會員 一時金壹百圓以上ヲ寄附スル者及ビ總會ニ於テ特ニ推舉セラレタ者

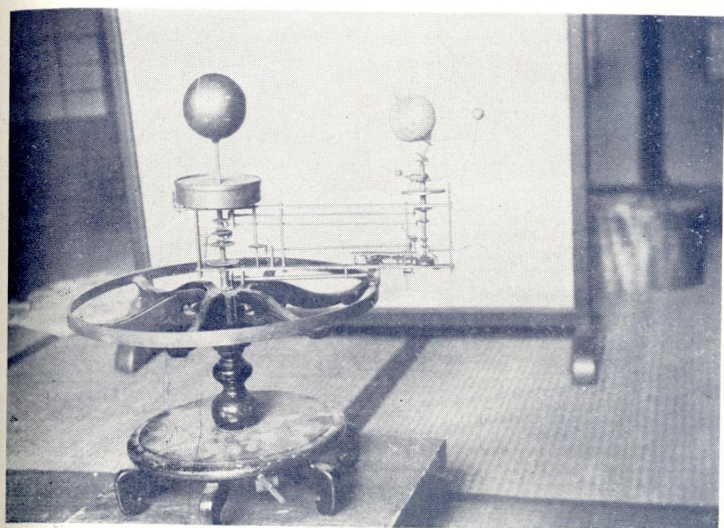
役 員 會長 副會長 會計監督 各一名 幹事 二名 會計 一名

評 議 員 若干名 役員ノ相談相手トナル

故朝枝松太郎氏作
『精密三球儀』



(第一期の作品)

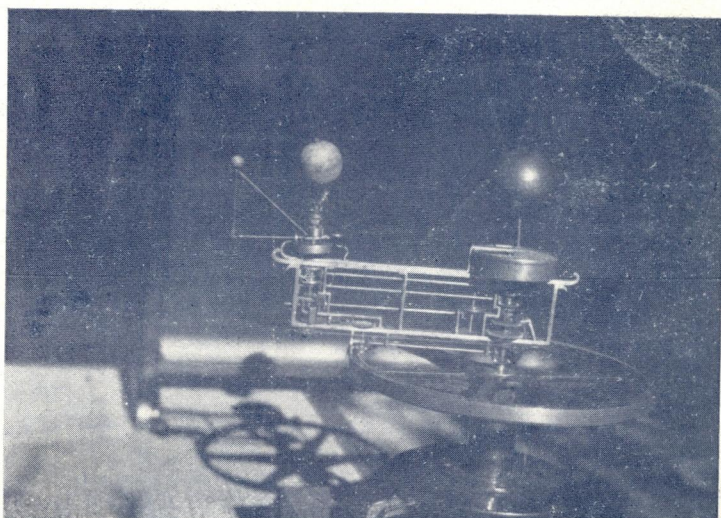


一九一九年京都帝國大學に携帶したるもの

(第二期の作品)

下部ハンドルの廻轉により地球と月は黄道環を巡り、日月食の關係を示す。

(第三期の作品)



(昭和八年十二月十七日、満木達雄氏撮影)

